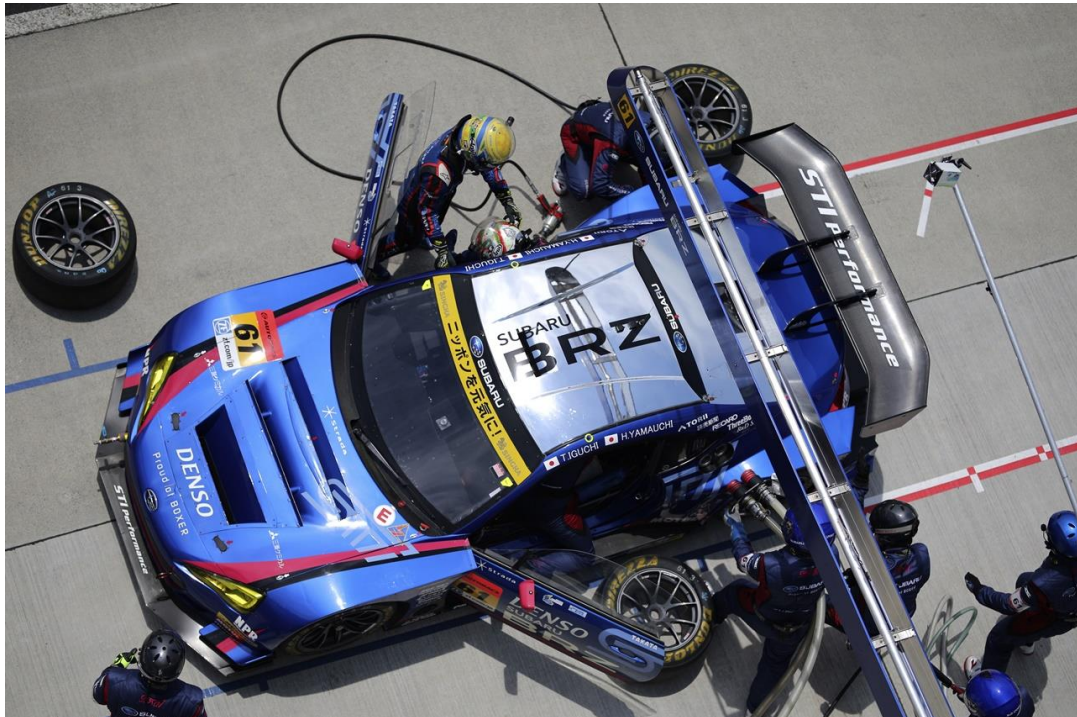


2017 AUTOBACS SUPER GT Round 3 SUPER GT in KYUSHU 300km

2017年5月20日(土)~5月21日(日)

予選 レポート



場所:オートポリス (大分県) 1周 4,674 km

天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:26℃ / 路温:45℃ / 観客動員数:10,470 人

今シーズン初ポールポジションならず！

2017年 SUPER GT シリーズは、ここオートポリス(大分県)で第3戦を迎えた。昨年の震災により2年ぶりの開催となった。4月のオートポリステストでマシンの手ごたえを十分に得ているチームとしては、SUBARU BRZ が得意とするこのサーキットで表彰台を狙いたい。この日のオートポリスは晴天の暑い一日となった。しかし午前中の公式練習での駆動系のトラブルにより、満足に走ることが出来なかった事が残念である。

5月20日(土)

<公式予選 Q1/ 13:30~13:45>

暑い日差しの中、ノックダウン方式での予選がスタート。15分間のセッション(Q1)の上位14位までが次のQ2予選に進める。Q1は山内英輝が担当する。予選開始すぐに他車のコースアウトにより赤旗中断、残り10分で再スタートとなる。山内は決勝スタートで使用される可能性があるタイヤを労わりながら、



www.rdsport.net

計測4周目に1分44秒954を記録し、5番手で Q1 予選を通過する。

<公式予選 Q2/ 14:15~14:27>

12分間のこのセッションで予選順位が決まる。井口卓人が Q2 アタックを担当する。井口もタイヤを労わりながら、計測2周目に1分44秒336の素晴らしいタイムを出す。#25 VivaC 86にタイムを更新され、結果2位で予選を終える。なお、GT500クラスのポールポジションは#100 RAYBRIG NSX-GT が、GT300クラスは#25 VivaC 86 MC が獲得した。



■本島監督 コメント



午前中の練習走行での駆動系トラブルが残念です。セットを詰め切れず予選に臨んだ結果です。ポールポジションは取れませんでした。ドライバー二人とも素晴らしい仕事をしてくださいましたし、チームスタッフも頑張ってくれました。ここオートポリスは特にレース中に前車を抜く事が難しく、またタイヤも痛みやすいサーキットです。前半はトップ車両との無理なバトルは避け、しかも後車との差を広げる事が出来れば結果が出ると思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2017/sgt/report/> もご覧ください

2017年5月20日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net